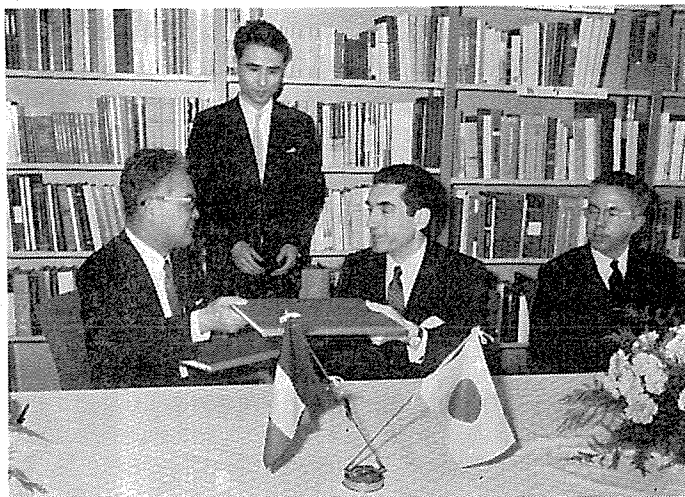


## 大阪大学図書館報

Vol. 5, No. 3, June, 1971

## フランス政府から 図書2600冊の寄贈

昨秋11月20日来学された  
仏大使館科学参事官マルク・  
デュピイ博士から、本学に  
対して万国博が大阪で開か  
れたのを記念して自然科学  
分野の新刊書を中心に寄附  
をしたい旨申出があった。  
その後、本年に入って折衝  
を続けた結果、別項のとおり  
の学術専門書約2600冊の  
寄贈を受けることになり、  
去る5月25日(火)午前11時  
半から本館会議室において、  
フランス側から駐日仏大使  
館文化参事官、ジャン・グ  
ィセ氏、同科学参事官マルク・デュピイ氏ら6名、本学からは釜洞総長、関館長ら、その他学  
内外関係者約40名が参集して贈呈式を行った。



「記念リストを交換するグィセ氏と釜洞総長、右側はデュピイ氏、図書館  
会議室にて」毎日新聞社提供

先づ最初にフランス政府を代表してグィセ氏、つづいて釜洞総長、デュピイ氏、関館長の順  
に挨拶があり、ついで、双方が記念図書リストにサインをして交換した。挨拶の中で4氏はこ  
もごも「従来、日本では英、独書に比べてフランス学術書の所蔵が少なかったが、今回の寄贈  
を機に本学が関西におけるフランス学術図書のセンターとして日仏友好に寄与したい。」と述  
べ、また、デュピイ氏は自然科学書については常に新しさを必要とするので、今後も新しいも  
のを贈りつづけたい。」と付言した。

これらの図書は、5月26～31日間、本館会議室に展示して学内利用者をはじめ関西地区の国  
公私立大学研究者にも公開したが、この展示は好評で1日平均150名が入場した。

展示終了後、受入・整理を経て利用に供するが、本館については増改築工事中でその工程の  
都合上、配架が遅れるかもしれない。

## 寄贈図書内訳

本館 哲学、宗教、心理学、教育、歴史、考古学、地理、法律、経済、社会学、自然科学一般

宇宙関係, 地学, 情報理論, 芸術, スポーツ, 言語, 文学, その他 計 1,400冊  
 理学部図書室 自然科学一般, 科学哲学, 科学辞典, 数学, 物理学, 化学, 電子 約700冊  
 中之島分館 医学 約200冊  
 吹田分館 工学・技術, 建築・土木, 計 約300冊  
 合計 2,600冊

## 附属図書館増築起工式行われる

前号でお知らせした図書館増築は, 設計・入札も順調に終り, 快晴に恵まれた4月20日(火)午前10時30分から起工式が行なわれた。総長, 館長等学内関係者および工事関係者も含め約70名の参列のもとに巖粛のうちに無事終了した。

工事概要 総工費312,230千円 完工予定 昭和47年3月10日

### 工程

#### 閲覧棟

4月中旬～4月下旬	総合仮設工事	1次堀削
5月初旬～中旬	杭打	
5月中旬～下旬	2次堀削	
5月下旬～6月下旬	基礎工事	
6月下旬～8月下旬	躯体工事	
8月下旬～12月下旬	内, 外部仕上及び外構工事	

#### 書庫棟

8月下旬～9月下旬	主体工事
10月初旬～12月下旬	内部仕上, 鉄骨床引, 外部仕上工事

#### ボイラー棟

5月中旬	堀削, 杭打
6月初旬～7月初旬	躯体工事
7月下旬～9月下旬	仕上工事

#### 既設建物改修

1月初旬～2月下旬

#### 請負業者

大林組, 山陽電気工事, 五建工業, 大阪ガス, 三菱電機等



「総長のくわいれ」(大林組提供)

## 電算機の機種は F A C O M 230—15

前号4頁でお知らせした本館への電算機導入につき、その後機種選定を急いでいたが、このたび、富士通株式会社製 F A C O M 230—15 に決定した。選定経過は次のとおりである。

46. 3. 6 日立、富士通、日本電気3社に対し、当館の希望仕様を説明した。
46. 3. 13 上記3社から、先日の仕様にもとずき概算見積書の提出を受け、補足説明があった。
46. 3. 15 各社提出資料をもとに館内で検討し、また、学内の情報処理専門家の意見もきいた結果、当館で機械化しようとしている業務内容には、現段階において、上機が最適であろうとの結論になった。
46. 3. 18 学内の検討結果をもって、田保橋閲覧課長、浅野受入掛長が上京し、文部省に古市情報図書館課長、菅野同課長補佐を訪れ、協議して了承をえた。

### 〔機器構成(予定)〕

中央処理装置 16KB (内蔵ドラム131KB付)

磁気ディスク・パック装置 2デッキ 10.4MB

磁気テープ装置 1200フィート 2デッキ 800BPI

ライン・プリンタ装置 120行/分 136字/行

紙テープ読取穿孔装置 読取200字/秒 穿孔50字/秒

タイプライタ装置 (インライン用) 20字/秒 2台

紙テープ作成器 (オフライン用) 2台

タイプライタ装置 (コンソール用) またはキャラクタ・ディスプレイ (9インチ角 16字×5行)

## 機械化ワーキング・グループ経過報告

### 46. 3. 17

近畿地区国公立大学図書館協議会の機械化委員会と共同して、F A C O M 230—15 のデモンストレーションを見学した。

### 46. 3. 26

機種選定経過報告 (別項参照、田保橋閲覧課長)

新年度からの進め方：グループ全体会議は月1回位にして、数名のプロジェクト・チームが常時活動する。そのスタッフは責任者1人の他はテーマにより交代する。

入力媒体：紙テープ→分館との連けい。機器の価格、その他の理由でカード方式は見送り。

### 46. 4. 7

受入業務の現状分析と問題点 (浅野受入掛長報告)

決定事項：①発注、検収、予算チェックまでは、とりあえず現状どおり。②入力には支出負担行為書作成前に納品書または現品を参考にして打込む。字数に制限があるので慣用語のアプリケーションを準備しておく。③出力リストは図書請求及命令書、同管理通知書、支出負担行為書内訳書および受入速報その他とする。④受入速報 入力項目の会計的事項を除いたものを部局・学年別のABC順に配列する。主題別配列はとりあえず見送り。⑤入力情報は磁気テープ (1,200フィート) に部局別に入れる。1巻当り5万冊入力。⑥予算差引 磁気テープ・ファイルによる。10日に1回リスト打出し、間げきは手作業による。

46. 4, 21

受入関係入力項目表

**閲覧業務**（松浦運用第一掛長説明）  
 決定事項：①利用者IDカード IDカード読取装置開発が前提条件、穿孔（または磁化）は外注も可 コード内訳 入学年次1桁、部局コード英数字9桁 種別（学部・大学院の別）1桁、一連番号3桁（例）IECO123→46年度入学経済学部123番の学部学生  
 ②ブック・カード 受入段階で入力した項目の中、図書コード、請求記号、用途区分だけをエッジ・カードまたはIDカードに打出す。 ③貸出区分 館内閲覧で自由閲覧室に持出す場合は館外と同じ扱い、未製本雑誌オーバー・ナイト・ローンは手作業による。  
 ④貸出期間 貸出期間の多様化を標準化することが前提、指定図書（現行1週間）を一般図書並み2週間にし、経済学部は身分により2週間～6ヶ月と巾が広いので3ヶ月位に一本化を図る。第4回会議（46.2.15）で決定した「返却日」は「貸出日」に変更する。

項目	桁数		予差引算簿	命令書等	統計	受入月報	備考
	数字	英字					
部局コード	2	4	○	○	○	○	公用貸出用略名表を利用
利用目的	1		○	○	○	○	
行為年月日	4		○				
書店名		2	○	○	○		
整理番号	5		○	○			支出科目も含む
支出額	7		○	○	○		
資料のタイプ	1			○	○	○	
和洋別	1				○		使用言語主義
受入年月日	4			○			
図書コード	7	2	○	○		○	
取得手段	1			○	○		
主題コード	6	1		○	○	○	請求記号6桁 著者記号1桁
著者名	74						
書名 (版次)				○	○	○	可変長
出版者							
刊年	4			○	○	○	
計	43	83	34	121	104	102	

⑤督促 定期的に打出されたリストによりチェック（手作業）する。

**受入業務**（浅野受入掛長説明）

本館では過去に受入番号付与方式が4回変っている（前号8頁）ので、これを現行方式にコード変換する。（詳細省略） 入力項目は別表のとおり。

**分館との連携**

中之島、吹田両分館に紙テープ穿孔機をおき、バッチ処理をする方法（47年度で概算要求中）と、テレックスで結ぶ方法が考えられる。

**コボル講習会**

6月から毎週水曜日15時～17時で26週間、学内研修の一環として実施する。

■■■■■■■■■■ 資料紹介 (7) ■■■■■■■■■■

プログラム調査簿 ソフトウェア総覧 全5巻 通産省編 大蔵省印刷局発行

46年4月 1セット ¥5,000（本館受入済）

この調査簿は昨年5月成立した「情報処理振興事業協会等に関する法律」第5条の規定にも

とずき作成されたものであり、プログラムのための二重投資回避のためのプログラムの流通の促進および取引慣習の確立により、プログラムの所在についての情報を利用者へ供給しようとするを目的とし、毎年1回更新されることになっている。

- ①対象・範囲 情報処理サービス業、ソフトウェア業、一般ユーザーが保有し、かつ他人に提供可能なプログラムの概要
- ②構成 第1巻：アプリケーション・プログラム(1)、事務計算 第2巻：同(2) 第3巻：同(3) 科学技術計算 第4巻：ライブラリー・プログラム 第5巻：システム・プログラム
- ③掲載項目 プログラム名、種類、適用業務内容、所有者名、所有者所属、連絡先、電子計算機名、内部記憶装置、実行時に必要な周辺機器、記述言語、プログラムの大きさ、提供形式、価格（無償を含む）、使用または売買条件、概要、完成年月（浅野次郎：受入掛長）

## 大阪大学学術雑誌目録—和文編—の刊行近し

1 昨年3月に刊行された“大阪大学学術雑誌目録—欧文編—”は、非常に利用度が高く、附属図書館が意図した「学内の知的共通財産」としての相互利用が高まっていることは喜ばしいことである。また同時に、“和文編”に対する要求も高まっていたが、このたび“欧文編”の姉妹編として上記の和文編（総タイトル4,600、B4版、170頁、えんち色表紙装幀）が完成に近づいている。遅くとも夏季休業に入るまでに利用者の手にわたる予定である。

### 学生希望図書—本館—

昭和46年5月現在、受入済みのもの	漢とローマ	(東西文明の交流1)
チャナディのサッカー 上・下	護 雅夫	平凡社
チャナディ	イスラム帝国の遺産(	〃 3)
竹腰 重丸 訳	嶋田 襄平	平凡社
ベースボール・マガジン	モンゴル帝国と西洋(	〃 4)
The Theory of Economic Growth,	佐口 透	平凡社
Morishima Michio	複素関数 (シュヴァルツ解析学6)	
Oxford	清水 英男	東京図書
ホワイト生化学 I	微分方程式 (	〃 7)
高木 康敬 他	小針 明宏	東京図書
磁気共鳴の原理	煉獄のなかで I	
スリッター	ソルジェニツイン	
益田・雑賀	木村 浩 他訳	タイム・ライフ
Organic Chemistry	ボオ全集 2, 3	
Handrickson, C. H	佐伯 彰一 他編	東京創元新社
函数解析の基礎 改訂版	橋のない川 第5部	
コルモゴロフ	住井 すす	新潮社
山崎 三郎 訳	愛と死(人間の運命 第2部 第3巻)	
岩波書店	芹沢光治良	新潮社
アインシュタイン選集 1, 2. 各2冊		
湯川 秀樹 監修	共立出版	

### 教官著作寄贈図書

一本 館一		齋藤 義一 (教・教授)
矢守 一彦 (文・助教授)		ドイツ観念論における実践哲学
都市プランの研究		
— 変容系列と空間構成 —		— 理学部図書室 —
	S.45 大明堂	千原 秀昭 (理・教授)
		化学情報
幕藩社会の地域構造	S.45 //	S.45 南江堂
		— 基礎工図書室 —
坪村 宏 (基礎工・教授)		坪村 宏 (基礎工・教授)
構造物理化学	S.46 東京化学同人	構造物理化学
		S.46 東京化学同人

### ◆ 図書館の概況

区 分	本 館	理 学 部 図 書 室	基 礎 工 学 部 図 書 室	中 之 島 分 館	吹 田 分 館	産 研 図 書 室	薬 学 部 分 館	計
蔵 書 数	483,600	67,068	36,423	154,463	163,898	24,272	14,870	914,594
45年度受入冊数								
1) 図 書 冊 数	30,570	2,832	5,078	6,176	8,127	1,249	966	55,002
2) 雑 誌 種 類 数	3,354	729	810	2,226	2,334	360	182	9,995
図書費支出額(千円)	110,530	18,639	18,072	32,986	42,310	8,350	5,535	236,422
施 設								
1) 建 物 面 積 (㎡)	3,094	509	403	2,771	2,950	292	336	10,355
2) 座 席 数	500	49	128	182	200	24	67	1,156
館 員 数	39	6	4	23	11	3	3	89
利 用								
1) 貸 出 冊 数	73,491	15,411	17,484	40,731	5,380	1,695	5,355	159,547
2) 貸 出 人 数	53,548	12,023	15,333	28,595	4,225	1,525	4,443	119,692
相 互 利 用								
1) 依 頼 件 数 (学 内)	56	307	92	1,237	178	21	589	2,480
(学 外)	236	—	—	1,544	67	—	170	2,017
2) 受 付 件 数 (学 内)	384	703	91	1,448	230	129	67	3,052
(学 外)	697	—	—	3,398	—	—	—	4,096
参 考 調 査								
1) 即 時 調 査	247	—	—	4,764	—	—	—	5,011
2) 主 題 書 誌 作 成	—	—	—	15	—	—	—	15

註：吹田分館の利用欄は昭和45年10月開館以降の数字である。

大阪大学附属図書館委員会委員名簿 (46. 6. 1 現在)

図書館長	関 教授(理)(委員長)	基礎工学部	大塚教授	今市教授
文学部	梅溪教授 森(昭)教授	教養部	今川教授	高瀬教授
法学部	矢崎教授 山口教授	微生物研究所	川俣教授	加藤教授
経済学部	高田教授 小泉教授	産業科学研究所	石黒教授	栗谷教授
理学部	千原教授 浜口教授	社会経済研究所	畠中教授	安井教授
医学部	◎坂本教授 岩間教授	蛋白質研究所	佐藤教授	倉橋教授
医学部附属病院	浦生教授 内藤教授	事務局	床井局長	
歯学部	下総教授 西嶋教授	(オブザーバー)		
薬学部	◎栞井教授 滝浦教授	医療技術短期大学部	桜井教授	賀集教授
工学部	◎三川教授 岡田教授	(註) ◎：分館長		

附属図書館豊中地区運営委員会委員名簿 (46. 6. 1 現在)

運営委員長	滝浦教授(薬)	薬学部	田村教授	滝浦教授
文学部	梅溪教授 森(昭)教授	基礎工学部	大塚教授	今市教授
法学部	矢崎教授 山口教授	教養部	今川教授	高瀬教授
経済学部	高田教授 福場教授	社会経済研究所	安井教授	久我助教授
理学部	千原教授 浜口教授	(オブザーバー)		
		医療技術短期大学部	加納教授	藤岡教授

附属図書館中之島分館運営委員会委員名簿 (46. 6. 1 現在)

分館長	坂本教授(医)	微生物病研究所	川俣教授	新居助教授
医学部	山野教授 岩間教授	蛋白質研究所	佐藤教授	泉 教授
医学部附属病院	浦生教授 内藤教授			
歯学部	下総教授 西嶋教授			

附属図書館吹田地区運営委員会委員名簿 (46. 6. 1 現在)

分館長	三川教授(工)	産業科学研究所	石黒教授	栗谷教授
工学部	岡田教授 池田教授			

## ■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■ 会 議 ■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■

## ——近畿地区国公立大学図書館協議会研究集会(第3回)——

## ——参考業務に関する研究集会——

46.4.26(月) 10.00~17.00 於 京大楽友会館

参加者 60名, 本学出席者 参考掛長, 高木事務官

①研究報告 即時調査の実態調査について: 分析と報告(京大閲覧課長), “一当事者の報告”(大教大, 小野事務官) ②分科会 人文科学, 社会科学, 総合系の各図書館に勤務する議員のグループに分けて行われた。 ③分科会報告・質疑・意見交換。

参考業務は, 図書館活動の重要な課題であるが, 参加各館の事情が違うこと, テーマの選び方に参加各人の関心を統一しきれなかったこと等の理由からやや低調であった。

## ——近畿地区国公立大学図書館協議会(第40回総会)——

46.5.7(金) 10.30~15.00 於 神戸商船大学

出席者 館長, 整理・閲覧課長, 受入掛長

昭和45年度の事業報告のほか, 国立大学図書館協議会, 公立大学図書館協議会の報告がそれぞれ行なわれ, 次いで, 委員会報告として, 企画委員会, 図書館業務機械化に関する委員会および参考図書に関する委員会報告を, それぞれ幹事館(京大), 阪大, 大外大が行なった。

協議会の協議にはいり, ①46年度の事業計画: 研究集会(参考業務, 業務の省力化, 図書館施設)を3回計画し, 業務機械化委員会(主査館阪大)と参考図書委員会(主査館大外大)は継続して所定の事項を調査研究する。 ②定例会議の性格について: ビジネス・ミーティングの方向で運営することを検討した。 ③企画委員会内規について: 企画委を常置のものとし, 事業の全般的な企画・立案を行ない, 幹事館, 委員会の主査館, 次期当番館等の国立4館公立4館の8館で構成する内規を承認した。 ④次期当番館: 47年度は京都府立大学が当番館に決定した。

## ——附属図書館分館長会議——

46.5.15(土) 12.30~15.00 於 本館館長室

①昭和46年度予算配分について詳細に説明し了承された。 ②組織の変更 館長から提案された, 責任体制を確立することを主眼とした附属図書館組織の改正案について検討した結果, 承認。 ③吹田移転部局 計画としては, 薬学部が先行することになっているが, これに関連して, 吹田地区における医学系図書館の将来像等について話し合いが行われた。 ④昭和47年度概算要求の重点事項 事務局へ提出する概算要求案について詳細に検討, 協議が行なわれ, 原案どおり了承された。なお今後, 分館長会議を定例化することとし, 開催日は隔月日とすることが決定された。

## ——理学部図書室運営委員会(第18回)——

46.5.17(月) 10.00~12.00 於 化学系会議室

①45年度決算報告: 理学部経費不足により予算使用停止のため約 380,649円を46年度に繰越



した。繰越額に相当する図書は到着あるいは支払済。 ②45年度ゼロックス複写決算報告 ③46年度予算案：図書費及び製本費はほぼ値上り分をスライドさせそれぞれ50,000円増とした。また運営費は理学部全体の予算とも見合せねばならないので原案として認め、教授会に提出する。 ④人事：職員1名が基礎工で定員化されたことと同時にその欠員補充について報告承認。 ⑤マイクロフィッシュの利用促進：リーダープリンターの配置と資料のマイクロ化。 ⑥指定図書，学生用参考図書購入方針：昨年度の方針に従う。 ⑦書庫対策：すでに限界にある書庫の状態を打開するため、理学部周辺に増築する要請は容れられなかった。そのため本年度完工の本館書庫を利用する。したがって利用度の低下した1部雑誌を移す。その際本館に対し最大限利用しやすい状態に置くことを要望した。なお移すべき雑誌の選定を各学科委員に依頼。次回（8月）委員会までに資料を作成する。

## 行事

新入生に対する図書館利用のオリエンテーション：4月13日に教養部ロ号館大講義室で文・法・経・医・歯・工の各学部新入生約1,700名を対象にして行われた。また16日に薬学部新入生80名と理学部新入生200名を対象にして行われた。内容は、①館長のあいさつ ②閲覧課長の一般的説明 ③スライドによる説明 で新入生各人に「本館利用のしおり」と「館報4月号」とを配布した。

学部進学者に対するオリエンテーション：4月12日に理学部・基礎工学部の各図書室では各学部進学者に対して、運用第一掛長により図書室利用のオリエンテーションが行われた。また中之島分館では、その利用および医学文献の探し方について運用第二掛長により9日（歯学部進学者）と12日、17日、24日（いづれも医学部進学者）にオリエンテーションが行われた。

## 日程

- 4月20日（火） 近畿地区国公立大学図書館協議会 参考図書に関する委員会（本館）
- 4月26日（月） 近畿地区国公立大学図書館協議会 昭和45年度第3回研究集会（京都大学楽友会館）
- 5月7日（金） 第40回近畿地区国公立大学図書館協議会（神戸商船大学）
- 5月14日（金） 国立大学図書館協議会 図書館機械化調査研究班研究集会—第6回—（東京大学）
- 5月17日（月） 国立大学図書館協議会 常務理事会（東京大学）
- 5月18日（火） 国立大学図書館協議会 大学図書館国際連絡委員会—第5回，および第2回総務委員会（東京大学）
- 5月25日（火） フランス政府からの図書寄贈受け入れ感謝の会（本館）
- 5月26日（水）～31日（月） フランス政府寄贈図書の展示会（本館）
- 6月2日（水）～4日（金） 第18回国立大学図書館協議会総会（岩手大学）

.....  
**人 事**  
 .....

**職員の異動**

採用 (4月1日付 増田 知子 整理課 整理第一掛)  
 (   〃        嘉賀 京子 閲覧課 運用第一掛)  
 (   〃        合田 幸恵 閲覧課 運用第三掛 吹田分館)  
 (4月16日付 信田 敬子 整理課 会計掛)

配置換 (4月1日付 小嶋 正幸 工学部用度掛長へ) (整理課 総務掛長から)  
 (   〃        小山 靖裕 産業科学研究所図書室へ) (閲覧課 運用第三掛から)  
 (   〃        平松 久子                   〃                   (   〃           〃           ))  
 (   〃        鈴木美津子 工学部機械系図書室へ) (整理課 総務掛から)

昇任 (   〃        阪本 重男 整理課 庶務掛長へ) (事務局庶務部 人事課から)  
 (   〃        本田 重雄 整理課 会計掛長へ) (教養部 用度掛から)

**職員の動勢**

昨年11月末にフランスへ出張した薬学部分館の町井照子事務官が、彼地の自然科学分野の文献情報活動を学んで4月30日帰国した。

**《組織の変更》**

附属図書館整理課総務掛は、本年3月31日付で廃止となり、新たに整理課に庶務掛と会計掛が設置された。

編集スタッフ 編集兼発行人 中野六郎 委員 田保橋彬(長) 岩井 勇 松浦 正  
                   榎田順治 津田恭司 山下 進 泉 文雄  
 レポーター 徳村泰弘 田中久文 町井照子 近藤敬子 篠田恭子 河崎戎三